

多文化共生と社会的排斥

話題提供：

樋口直人（徳島大学総合科学部）

「日本型排外主義と多文化共生：両者の関係を再考する」

田巻松雄（宇都宮大学国際学部）

「日本における多文化共生のかたち：外国人児童生徒への学びの場と進路の保障」



指定討論：

清水奈名子（宇都宮大学国際学部） + 米山正文（宇都宮大学国際学部）

日時： 2018年3月29日（木）13:30-18:00

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 5号館（国際学部）A棟4階 大会議室
交通アクセスは裏面もご参照ください。

参加費： 無料（懇親会別途）

主催： 宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター／挑戦的萌芽研究「共感の反社会性と『いじめ』、偏見、紛争：異分野融合研究による教育モデルの提言」

共催： 科研費基盤（B）「嫌悪とヘイトスピーチ：排斥行動の内的過程解明とその予防に資する基礎的研究」

問合せ先： 宇都宮大学国際学部 中村真 nakamura@cc.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
多文化共生に関する分野融合研究会

◆テーマ「多文化共生と社会的排斥」

◆企画趣旨

ここでは、社会的共生とは、ある社会集団において、様々な背景をもつ人々が基本的権利を侵害されることなく、また、相互に排斥的にふるまうことなく生活している状況を指す概念として定義する。このような共生の概念は、宇都宮大学国際学部の教育目標の重要なキーワードの一つである「多文化共生」とも密接にかかわるものであり、このたび、同学部附属多文化公共圏センターと共催の2つの科研費研究グループが協力し、多文化共生に関する分野融合的研究を企画することとした。

これまで、この2つの科研費研究グループでは、社会的排斥の具体的な事例として、ヘイトスピーチの現場からの報告を交えて問題提起を行い、さらに、主に心理学の観点から、嫌悪感情と排斥行動の関係、集団行動の社会心理学的特徴、ネットを介した排斥情報の拡散、行動免疫（病原体との接触を避けるために進化した心理的システム）による排斥行動の特徴などについて検討を行ってきた。

今回は、主として社会科学の観点から、社会的排斥の現状と問題への対応について検討することにより、社会的共生、多文化共生を阻害する要因を多面的に分析し、問題の理解を深めることを目指す。具体的には、社会学領域から2つの話題提供をいただき、国際関係論とアメリカ文学・文化論の立場からの指定討論を行ったうえで、専門分野の枠を超えた討論を行いたい。

◆交通案内 (<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/access.php>)

JR バス (乗車時間：約 15 分)

乗るバス：清原台団地(きよはらだいだんち)、清原球場(きよはらきゅうじょう)、祖母井(うばがい)、茂木(もてぎ)、ベルモール行など

バス停：JR 宇都宮駅西口 バス乗り場 3 番

下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

東野(とうや) バス (乗車時間：約 15 分、東武宇都宮駅バスの場合 約 25 分)

乗るバス：真岡(もおか)、益子(ましこ)、海星学院、清原球場行など

バス停：JR 宇都宮駅西口バス乗り場 14 番、東武宇都宮駅バス乗り場

下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

関東バス (乗車時間：約 10 分)

乗るバス：宇都宮駅東循環バス(左回り)

バス停：JR 宇都宮駅東口バス乗り場

下車するバス停：宇都宮大学前(うつのみやだいがくまえ)

タクシー

JR 宇都宮駅東口乗り場(乗車時間：約 5 分)

東武宇都宮駅乗り場(乗車時間：約 15 分)